



平成26年

2月8日^土—3月23日^日

9:30~17:00 (入館は16:30まで)

毎週月曜日休館

展示会場: 荒川区立荒川ふるさと文化館 1階 企画展示室

入館料: 100円

(ただし、荒川区民で中学生以下・65歳以上・障がい者及びその介助者は無料)

兎鏡



番付から見る

展

江戸前大蒲焼



平成25年度
第2回
荒川ふるさと文化館
企画展

大江戸趣味風流
名物くらべ

羽二重だんご

主催: 荒川区教育委員会

荒川区立 荒川ふるさと文化館

〒116-0003 東京都荒川区南千住6-63-1 TEL.03-3807-9234 FAX.03-3803-7744

番付から見る あらかわ展

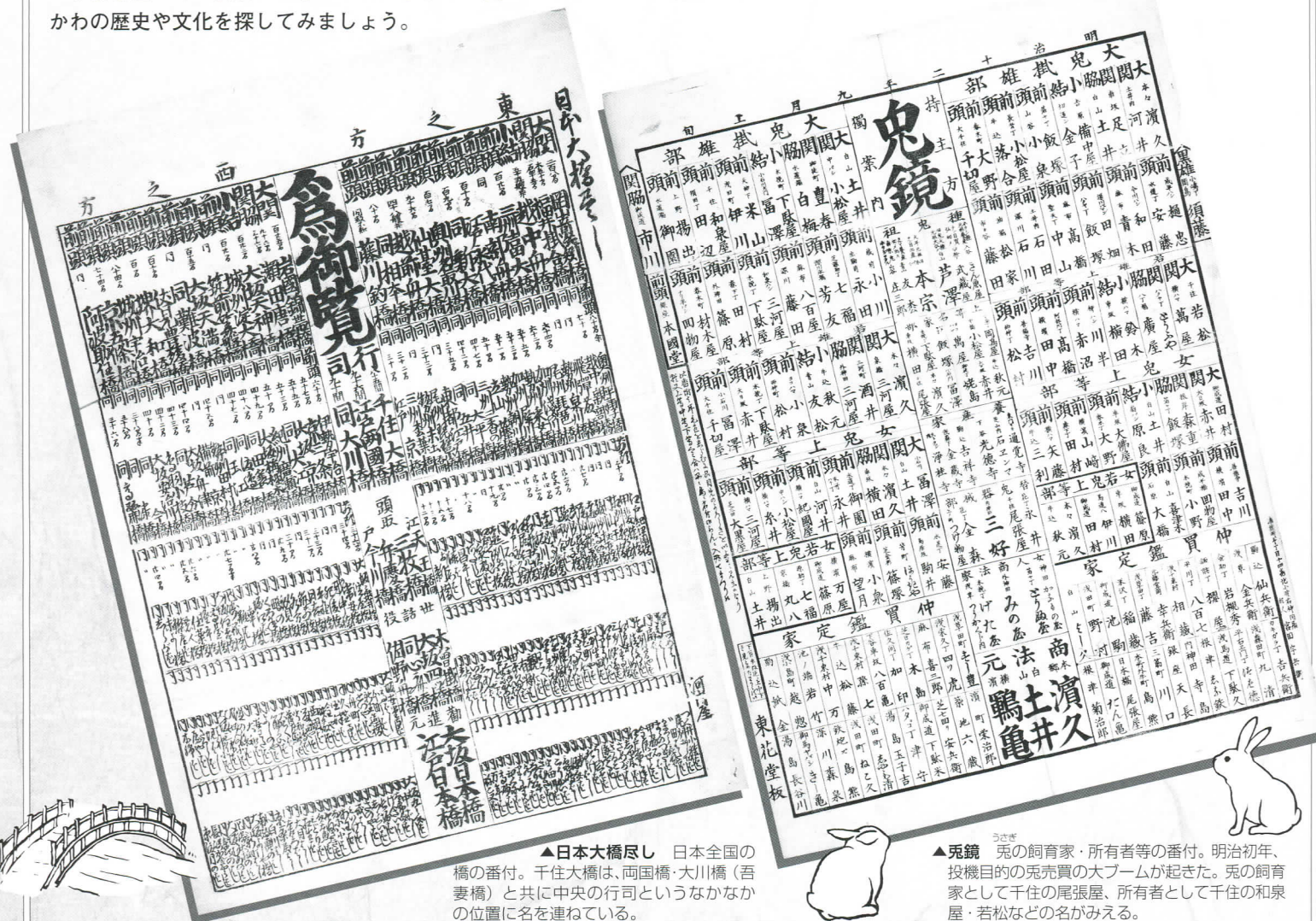
ランキングや格付け情報は現代人の関心事の一つです。日々、様々なランキングが発表されています。

江戸時代から近代の人びとも、ランキング情報には大きな関心を寄せていました。この時代、バリエーションは今よりもずっと豊富で、名所・名物・人物など、あらゆる物事を相撲や芝居の番付になぞらえて格付けした「見立番付」がたくさん発行されていました。東西に振り分け、上位の上段から下位の下段に行くに従って、文字を小さく表記する相撲番付になぞらえた表現方法は、一目でわかりやすく、それを見る人びとは番付がもたらす情報を大いに楽しみました。

本展を通じてお馴染みのものから、ちょっと変わったものまで、番付の中にいろいろなあらかわの歴史や文化を探してみましょう。

◆展示構成

- I. いつ見に行く？一名所づくしー
- II. 昔から知られていました！
ーあらかわの名店・名産品ー
- III. 最近話題のあのニュース
- IV. アラ不思議ー不思議な出来事ー
- V. あらかわの人



▲日本大橋尽し 日本全国の橋の番付。千住大橋は、両国橋・大川橋（吾妻橋）と共に中央の行司というなかなかの位置に名を連ねている。

▲鬼鏡 鬼の飼育家・所有者等の番付。明治初年、投機目的の鬼売買の大ブームが起きた。鬼の飼育家として千住の尾張屋、所有者として千住の和泉屋・若松などの名がみえる。

関連イベント

展示解説

日時：①2月22日（土）13時30分～14時10分
②3月22日（土）13時30分～14時10分

講師：当館学芸員

会場：1階 企画展示室

*入館料がかかります

記念講演会

日時：2月15日（土）13時30分～17時

①「見立番付の世界」

講師：小林 信也 先生（川村学園女子大学講師）

②「名所と見立番付」

講師：加藤 貴 先生（北区文化財保護審議会会長）

会場：地下1階 視聴覚室

定員：70名

参加費：無料

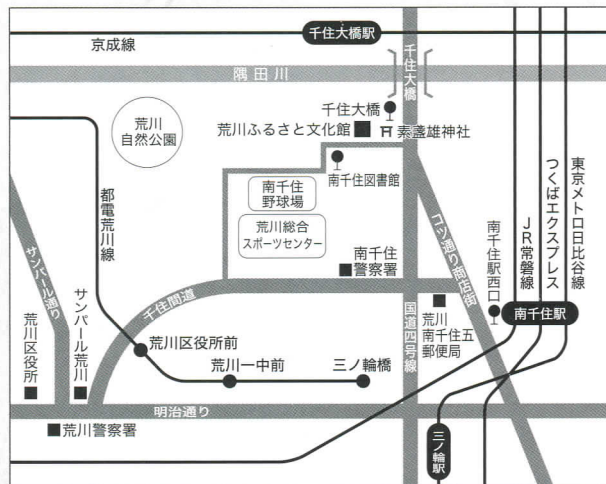
申込み：2月1日（土）から受付（先着順）

*電話または展示室受付でお申し込みください

【申込み・問合せ】荒川区立荒川ふるさと文化館

〒116-0003 東京都荒川区南千住6-63-1 TEL.03-3807-9234

<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/event/bunkasports/banduke.html>



交通のご案内

- コミュニティバスさくら南千01系統：南千住図書館停留所（徒歩1分）
- 都バス 草43系統：千住大橋停留所（徒歩3分）
- JR常磐線・東京メトロ日比谷線：つくばエクスプレス：南千住駅（徒歩8分）
- 京成線：千住大橋駅（徒歩8分）
- 都電荒川線：三ノ輪橋停留所（徒歩15分）